

事務事業名	林地崩壊防止事業(R5災)		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	災害復興G		
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進		担当者名	高木 洋輔		
	目的・対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。			
	基本事業	〈046〉防災施設の整備		予算科目	0:130:0:1	大事業名	林地崩壊防止事業
目的・対象	市民	意図	被害にあわない、被害が拡大しない。			中事業名	林地崩壊防止事業
				1:040:0:1	中事業名	林地崩壊防止事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所を復旧する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R5 年度 ~ R6 年度)	降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠(※事業費は100万円以上) 受益者負担は世帯の所得状況により、(A)住民税非課税世帯:10%、(B)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満:12.5%、(C)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上:15% 補助額は、(A)事業費×1/2、(B)(事業費-100万円)×1/2、(C)(事業費-200万円)×1/2
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) <R5災> 6箇所の被災があり、復旧工事を発注済み→R6完了予定 測量設計6箇所発注・完了	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 応急土砂撤去費用を補助対象事業費に含めることができたようになったため、必要に応じて被災直後の応急土砂撤去を実施。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 発注率(年度末時点)	%			83	100
イ 完了箇所数(全体6箇所)	箇所			0	6
ウ 完了率(年度末時点)	%			0	100
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R5現年(R5災)】6箇所 委託費:5,500千円、工事費:473千円(応急土砂撤去) 計:5,973千円 ※地方債:緊急自然災害防止対策事業債	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円			2,604	18,600
	地方債	千円			3,300	17,000
	その他	千円				5,752
	一般財源	千円			69	87
事業費計	千円		0	0	5,973	41,439

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	早期復旧に努め、生活の安全が確保された。 R5災分は復旧工事を発注済みであり、R6年度中に全箇所復旧完了予定。
② 事業実施するうえでの課題	人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事になるため、工期が長くなる場合がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。